



組曲『展覧会の絵』から

パート 1

1. 作曲者ムソルグスキーが実際に鑑賞した「ガルトマンの絵画」(教科書 P40)を鑑賞し、印象や感じたことを書きましょう。

<p>グノーム グノームはロシアの伝説に登場するこびとで、地中の宝を守ると言い伝えられている。地底に住み、奇妙な格好で動き回るといわれている。</p>	
<p>卵の殻をつけたひなどりのバレエ バレエの衣装のデザインを原画としている。</p>	
<p>カタコンベ 古代ローマ時代、キリスト教徒が葬られた地下の墓所。現在もパリなどに残されており、骸骨が四方にうずたかく積まれた非常に気味の悪い場所である。原画は3人の男がランタンを手にその中を調べている水彩画で、その1人はガルトマン自身であるといわれている。</p>	
<p>鶏の足の上の小屋 スラヴの民話に登場する魔女バーバ・ヤーガは箒に乗って空を飛び、鶏の脚の上に住むといわれる。その小屋をモチーフにした時計盤のデザインが原画。</p>	
<p>キエフの大門 1869年、キエフ（現在のウクライナの首都）にかつてあった凱旋門を再建するための設計コンテストが行われ、これに応募したガルトマンの設計図</p>	

2. 絵画を見ながら組曲「展覧会の絵」を鑑賞し、絵画から受けた自分の印象と音楽が一致した曲を一曲選び、その理由を簡単にまとめてみましょう。

自分の印象と音楽が一致した曲

【鶏の足の上の小屋 ・ 卵の殻をつけたひなどりのバレエ ・ グノーム ・ キエフの大門 ・ カタコンベ】



組曲『展覧会の絵』から

パート2

1. それぞれの曲について、楽器の音色（おんしよく）、速度、旋律、強弱などの変化や違いに注意しながら、聴いてみましょう。また、感じ取った雰囲気や曲想をまとめましょう。

	気がついたことや、感じ取った雰囲気、曲想について
プロムナード (冒頭)	
第1曲 グノーム	
プロムナード (第4曲と 第5曲の間)	
第5曲 卵の殻をつけた ひなどりのバレエ	
第8曲 カタコンベ	
第9曲 鶏の足の上の小屋	
第10曲 キエフの大門	

2. 組曲「展覧会の絵」の中から1曲を取り上げ、「聴きどころ」を紹介しましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

組曲『展覧会の絵』から

2年 組 番 氏名 _____



1. 楽曲の前後のプロムナードや絵画と対応する各楽曲について、聴き取ったこと(音楽の特徴)や感じ取ったこと(雰囲気や気持ち)を記入しよう。聴き取ったことと感じたことが結びついていると思ったら矢印で表現してみましょう。

例 金管楽器の低音がすごく強く響いている。 → 恐ろしい感じがした。

	聴き取ったことと感じ取ったこと
プロナード (冒頭)	
第1曲 グノーム	
プロムナード (第1曲と第3曲の間)	
プロムナード (第4曲と第5曲の間)	
第5曲 卵の殻をつけた ひなどりのバレエ	
第9曲 鶏の足の上の小屋	
第10曲 キエフの大門	

2. 組曲『展覧会の絵』は絵画とどのように関連して作曲されているか、説明しましょう。

《第1時間目》

- ① ワークシートパート1を配り、教科書の絵画を見て感じたことを記入する。
- ② この絵画を展覧会で鑑賞して、その印象をムソルグスキーが作曲し、ラヴェルがオーケストラ版に編曲したことを伝える。
- ③ それぞれの音楽を鑑賞し、絵画で感じたことと音楽の印象が合っていると思うものを選び、その理由をワークシートに記入する。
- ④ 記入したことを交流する。

《第2時間目》

- ① プロムナードも含めて、それぞれの音楽を鑑賞し、音楽の特徴をワークシートパート2orパート2別案に記入する。
- ② 気づいたことや感じ取ったことを交流し、ムソルグスキーが絵画の印象をどのように音楽で表現したかをとらえる。
- ③ おすすめの1曲を紹介する or どのように絵画と結び付けているかを記入し、交流する。
※どちらにしても、絵画で受けた印象をどのように音楽で表現しているかについて述べる文章になる。